

(6) 平成30年度上期水道事業の概況

ア 建設事業の状況

給水区域内の安定供給を図るため、塩化ビニル管をはじめとする老朽管の布設替工事は、江戸川台西2丁目地先ほかで改良工事14件を実施している。また、未給水区域の解消を図るため、大字南地先ほかで配水管拡張工事2件を実施している。さらに、つくばエクスプレス沿線整備事業4地区で配水管拡張工事15件を実施している。

イ 業務の状況

当期の給水人口は186,498人で、前年同期に比べ5,339人(2.95%)の増加があった。

給水量は9,082,147^m³で、前年同期に比べ199,499^m³(2.25%)の増となった。

なお、1日最大給水量は、54,743^m³を記録し、前年同期に比べ1,443^m³(2.71%)の増となっている。

ウ 経理の状況

上期における総収益は、2,224,068,762円で、前年同期と比べ224,905,622円の増額となった。総費用は、1,436,087,372円で、前年同期に比べ26,000,791円の増額となった。税抜きによる総収益2,072,315,159円から総費用1,381,284,727円を差し引いた当期の損益は、691,030,432円の純利益となった。

収益の内訳は、営業収益が1,597,761,450円で前年同期に比べ40,399,202円(2.59%)の増収となった。このほか、営業外収益は626,296,592円で、前年同期に比べ184,495,700円(41.8%)の増収となった。

次に、費用の内訳では、営業費用が1,352,991,973円で前年同期に比べ33,876,385円(2.57%)の増額

となった。このほか、営業外費用は82,416,529円で、前年同期に比べ5,138,429円(5.87%)の減額となった。